

4月29日(日祝)のみどりの集いでは天候にも恵まれ多くの来園者で大変賑わいました。この度初めて「空から森を眺めよう」というブースを設け、高所作業車で高さ12mまで上がり園内を見下ろす体験があり大盛況でした。ありがとうございました。

さて、5月に入りハンカチノキは例年より早く散り始めましたが、ヒトツバタゴ(写真1)が満開になりました。管理事務所前ではヒラドツツジ(写真3)やセイヨウシャクナゲ(写真3)がたくさん花をつけています。

見どころ情報

ヒトツバタゴ(写真1)

自生地が対馬と木曾川中流域に限られる落葉小高木で、江戸時代文政年間(1818~1831年)に発見されました。自生地以外ではナンジャモンジャの木と呼ばれ、これは何かわからない木という意味です。4月末から5月に新枝の先に白い花をたくさん咲かせます。長崎県上対馬町の鰐浦湾一帯の群落では、白い花で山の斜面が一面真っ白になり、その姿が海面に映し出されるため、地元ではウミテラシと呼ばれています。またヒトツバタゴの名の由来ですが、同じモクセイ科のトネリコ属の木のことをタゴとも呼び、ほとんどが複葉の樹木ですが、本種は単葉のため、ヒトツバ(一葉)のトネリコという意味です。

オオデマリ(大手毬) レンブクソウ科ガマズミ属(写真2左上)

山地の谷筋など、湿った場所に自生するヤブデマリの変種、ケヤシヤブデマリの品種とされている落葉小高木です。球形の白い装飾花は、咲き始めは緑色ですが、徐々に白色になります。今年は花が多いです。

また、現在コデマリ(写真2右上)も見頃です。コデマリは中国大陸中部原産の落葉低木で、庭木として利用されます。バラ科シモツケ属に分類され、レンブクソウ科のオオデマリとは異なります。オオデマリより小さな半球形の花序をつけ、白い花は両性花になります。

場所：しゃくなげロード入口(オオデマリ), 見本園他(コデマリ)

コバノガマズミ(小葉莢蒾) レンブクソウ科ガマズミ属(写真2左下)

明るい山林や林縁に生える落葉低木で、同じ仲間のガマズミよりも葉や花序が小さくなります。葉の両面に星状毛が生えます。

場所：管理事務所前他園路沿い

見頃状況まとめ

咲き始め	カマツカ(写真3), ジャケツイバラ, マルバアオダモ 他
見頃	ヒトツバタゴ(写真1), オオデマリ(写真2), コデマリ(写真2), コバノガマズミ(写真2), コツクバネウツギ(写真2), ヒラドツツジ(写真3), ホオノキ, アズキナシ, ドイツスズラン 他

園内の見どころ情報はツイッター及びインスタグラムでも確認できます。

メールマガジンよりも早くお知らせできることが多いのでぜひ下記URLからご覧ください。

ツイッターアカウント名: @Ryokkacenter <https://twitter.com/ryokkacenter>

インスタグラムアカウント名: kanri ryokka <https://www.instagram.com/kanri ryokka/>

フォローよろしくお願ひします。

園内の開花情報や野鳥等の写真を随時掲載していきます。ぜひご利用ください。



写真1 ヒツパタゴ (多目的広場) H30.5.3



写真2左上 オデマリ (しゃくなげロード入口) H30.5.3



写真2右上 コデマリ (多目的広場) H30.5.3



写真2左下 コバノガズミ (管理事務所前) H30.5.3



写真2右下 コツバナウツギ (さくら通り) H30.5.3



写真3左上 ヒラドツヅ (管理事務所前) H30.5.3



写真3右上 カマツカ (さくら通り) H30.5.3



写真3下 セイヨウシャクナゲ 2品種 (管理事務所前) H30.5.3

